

## おじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋

### 【プログラムのねらい】

核家族という家族の形態が多くなってきている現在、つながりの少ない地域社会が見られるようになってきました。そのため、世代をこえてコミュニケーションをとる機会が少なくなってきています。

身近な人とのつながりから地域へと、関わりを持つことや次の世代に生活の知恵や子育ての方法などを伝えていくことの大切さを考えてみましょう。

### 【プログラムの展開例】（時間 60 分程度）

	○進め方 ◎ことばかけ	留意点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己紹介をします。</li> <li>○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。</li> <li>○自己紹介やゲームを行い、緊張を和らげたり、参加しやすい雰囲気づくりをしたりします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明るく元気な話し方を心がけます。</li> <li>○今日のプログラムについて、ポイントをしぼりやすく説明します。</li> <li>○参加者に気を配り、ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、明るく声かけをして参加を促します。</li> <li>○ゲームが終わるまでに、次の活動にスムーズに移れるようにグルーピングしておきます。</li> <li>○1グループにつき5～6人（全体の人数が少ない場合は3～4人）を目安に編成します。</li> <li>○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。</li> </ul>
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎幼いころの祖父母や父母との関わりを思い出してみましょう。</li> <li>◎伝えられた生活の知恵や子育て方法の中で現在も活用していることや、違いが出てきていることがありましたら、書き出してみましょう。</li> <li>◎グループでワーク1について話し合ってみましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼いころを振り返りいろいろな場面を想定できるような話しかけをします。</li> <li>○否定だけでなく肯定できることから話し合いの中から取り上げていくようにします。</li> <li>○グループワークのまとめとともに、世代の違う人たちとの交流から心に残るエピソードなども発表してもらいます。</li> </ul>

	<p>◎ワーク2のエピソードを読んであい子さん、夫、祖父母、子供の気持ちを考えてみましょう。</p> <p>◎「子育て」を考える時、それぞれの役割やどんな関係がよいか、グループで話し合ってみましょう。</p> <p>◎②の世代をつなぐ家族や地域の人たちとの関わりについて考えてみましょう。</p>	<p>○率直な意見を書いてもらうように話します。</p> <p>○祖父母の思い、親としての責任を考え家庭の中での役割を考えてみましょう。</p> <p>○親や祖父母、地域のコミュニティーの中で見守り育てていくことが子供の豊かな社会性を育てることにつながります。</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>◎今日の学習のまとめをしましょう。</p> <p>○参加者一人一人に、今日の学習を通して考えたことや感想を書いてもらいます。 (ふりかえり)</p> <p>○発表してもらいます。</p>	<p>○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。</p> <p>○あらかじめ数人の人に感想を発表してもらえよう話をしておきます。</p> <p>○前の世代から伝えられ、今もお変わらずに残されているものやその心を受け継ぎ、つなげていくことをくり返している私たちです。皆さんは、何を伝えていきますか。</p>